

形式：対面セミナー

補足： 配信はありません。会場にお越しの上、ご受講ください（会場が未定の場合は、お手数ですが、Web ページでご確認ください）

ジャンル：機械

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 6 2 5 r 1

機械設計者にとって“絵が描ける”というのは強力な武器になります。『ものづくり』におけるコミュニケーションはもちろんのこと、抽象的なアイデアを迅速に具現化・可視化できることは設計者としての力量を大きく底上げします。日常業務では習得しにくいスキルですので、是非この機会をご活用ください。

## 【1日速習／絵心がなくてもできる】機械設計者のための“デッサン”の基礎 ～観察力、形状理解力、創造力、設計力を引き出すスケッチのテクニック～

講師：伊藤精二技術士 MDC 事務所 技術士（機械部門）伊藤 精二 氏

早稲田大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻課程修了。ソニー株式会社入社、生産技術本部・技術情報システム本部・エンタテインメントカンパニー/VTR 走行系の機構設計開発・CAE 解析/メカ 3D-CAD/CAE 設計技術開発・推進/二足歩行ロボットの企画開発・設計・マネジメントに従事。退社後、特許文献調査業務を経て、2013 年よりエンジニア人材派遣会社にて機械工学・設計・製図研修講師、2019 年より早稲田大学創造理工学部、2021 年より日本大学理工学部で機械設計・製図カリキュラムの非常勤講師に従事。機械設計キャリア、機械工学・設計・製図教育講師を通じて、製品企画・概念設計・設計検討・詳細設計に至るまでの『ものづくり』全般に関わり、機械設計に必要な創造性育成を重視した設計技術力の向上・育成・教育に注力。

- 日程 2025 年 6 月 25 日（水） 10：00 ～ 17：00
- 会場 ちよだプラットフォームスクウェア 会議室（東京 竹橋駅・神保町駅）
- 受講料 36,300 円（税込） ※3/14（金）までにお申込の場合、**29,700 円（2割引）**となります

### <プログラム>

#### <なぜ機械設計者にデッサンのスキルが必要なのか？>

設計者にとって“絵が描ける”ことは、【独自の視点を反】、【感情や意図の伝達】、【アイデアの具現化】、【自己理解の深化】、【自由な発想の促進】、【多様なアイデアの生成】、【空間認識と俯瞰力の強化】、【制約下での創意工夫】などさまざまなメリットがあります。

#### <本講座で得られる知識や技能>

本講座では機械設計におけるデッサンの基礎を学ぶことで、以下のような知識と技能の習得を目指します。

- ① 観察力の向上 …… デッサンを通じて物体の形状、構造を正確に捉えるコミュニケーション力が養われ、設計の精度向上を図る。
- ② アイデア・発想の可視化技術 …… 頭の中の抽象的なアイデアを迅速にスケッチできるようになり、設計プロセスの効率化向上を図る。
- ③ コミュニケーション能力の向上 …… スケッチによる可視化で、チームやクライアントとの意思疎通を円滑に行い、設計意図を効果的・効率的に伝達・訴求する技術の向上を図る。
- ④ 創造力の促進 …… 3D-CAD などの複雑操作を介在させることなく、発想を直観的に表現することで、新しいアイデアやインスピレーションを得やすくし、独創的な設計案創出力の向上を図る。
- ⑤ デッサン・立体表現技術の向上 …… 陰影や遠近法などの基礎技術が向上し、立体感や質感の表現能力の向上を図る。

#### <講義プログラム>

1. 目的
  - 1-1 ものづくり・設計プロセスの中でのコミュニケーションの核となる「絵」、「図」の重要性
  - 1-2 各プロセスで創出される成果物である「絵」、「図」の種類の役割
2. 立体の表現手法
  - 2-1 投影法と立体画法
    - ◇ 投影法の分類
    - ◇ 立体図の描画手法
  - 2-2 立体図の描画実習
    - ◇ ポンチ絵
    - ◇ 斜投影図
    - ◇ 等角投影図
3. デッサンの描画実習
  - ◇ 描画手順と方法
  - ◇ デッサン実習

#### <到達目標とするデッサンの水準>

この講座をご受講いただければ、（個人差はありますが、）だいたいこの水準のデッサンを描けるようになります。



#### <講義概要>

製造業のバリューチェーンでの製品・機械設計開発プロセスにおいて、商品企画～量産にいたるまで、実体のない企画案から製品実現まで、上流から下流への『ものづくり』のコミュニケーションが不可欠です。その各過程で製品定義・伝達・共有・議論のため、“絵”や“図”が重要な要素となります。

そこで本講座では、企画構想～詳細設計～製作まで、特に重要な実体の 3D イメージを 2D で表現する投影図などの表現方法の全体をまず理解し、企画構想検討や議論などで多用される立体図の描画スキルの基本、さらには新規設計やアイデア創出にも有効な技能となるリアルなポンチ絵・デッサンの描画技能を体得します。

具体的には、午前中、2D 情報から立体図を描く基本的な斜投影図、等角投影図および穴などの機械的要素、特徴、遠近法などを含む外形・構図の描画法の基礎を実習・体得します。午後、対象の立体モデルを設定して、（業務に関連した？ 要相談・議論）ポンチ絵、それ以上レベルのデッサンが描けるまでのスキルを体得します。

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	2025/6/25 【1日速習／絵心がなくてもできる】機械設計者のための”デッサン”の基礎		
<b>会社名※</b>			
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>備考※</b>			

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		